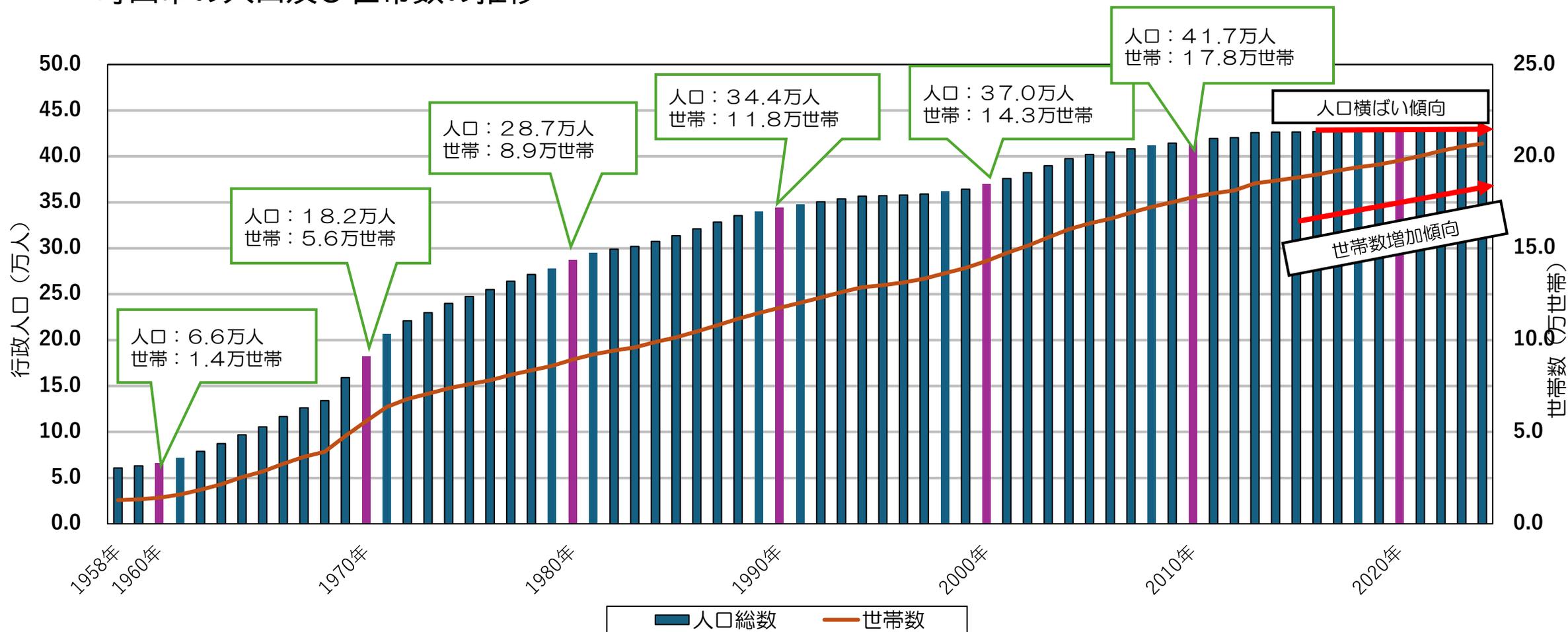


# 下水道事業を取り巻く将来推計

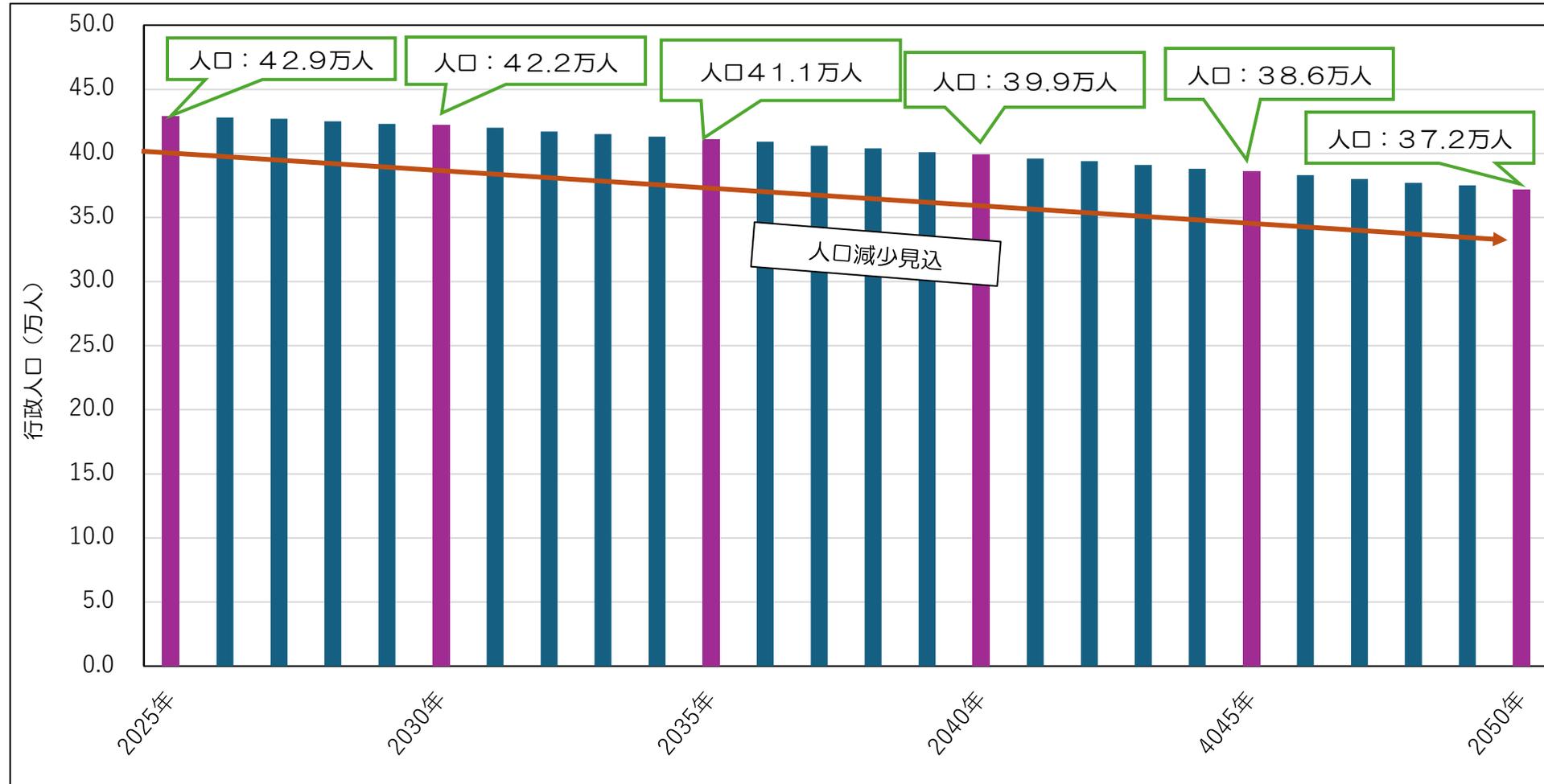
## (1) 行政人口の推計

町田市の人口及び世帯数の推移



# 下水道事業を取り巻く将来推計

町田市の将来人口推計 ※出典:町田市将来人口推計報告書(2021年10月)



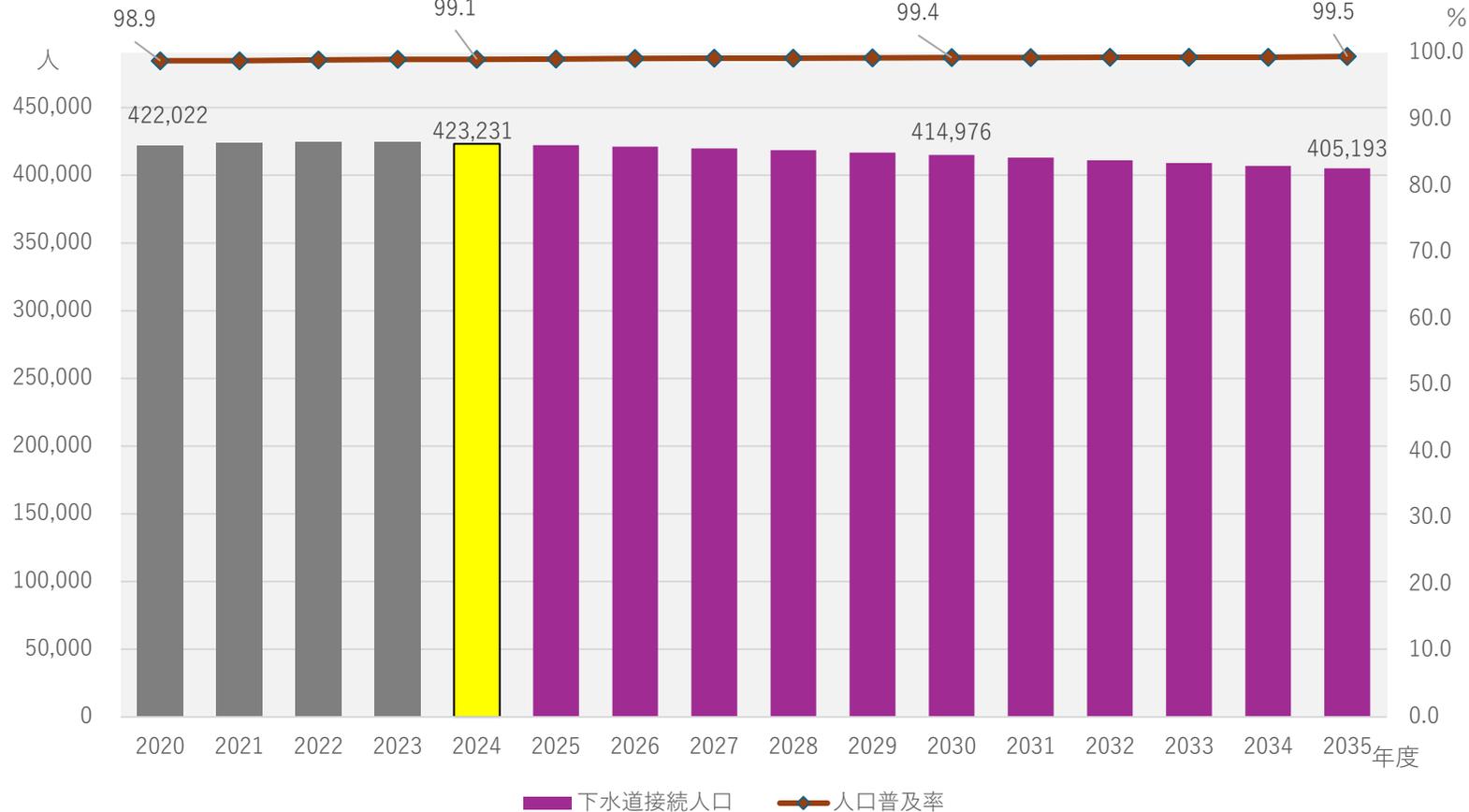
- 当市の未来づくり研究所の「町田市将来人口推計報告書(2021(令和3年)10月策定)」によると、今後は減少に転じるとされています。
- 2025(令和7)年42.9万人から10年後の2035年には41.1万人、2050年には37.2万人まで減少すると推計されています。

# 下水道事業を取り巻く将来推計

## (2)人口普及率と下水道接続人口の推計

●人口普及率は、2024年度99.1%から、2035年度には99.5%となる見込みです。(また、下水道接続率は2024年度99.5%から、2035年度には99.6%となる見込みです。)

●下水道接続人口については行政人口減少の影響が大きく、2024年度423,231人から、2035年度には405,193人となる見込みです。



## (3)有収水量と下水道使用料収入の推計

- 人口の減少や、節水型機器の利用による利用水量の節減効果などにより、有収水量の減少を見込んでいます。
- 有収水量は、2023年度4,141万 $\text{m}^3$ から2035年度には3,963万 $\text{m}^3$ となる見込みです。
- 使用料収入は、2023年度54.98億円から2035年度には51.53億円となる見込みです。

